

月刊 本草閣 かわら版

9月10日

発行所 和薬・漢方 本草閣
「本草閣かわら版」
編集部
編集責任者 松岡 / 川出
[文責 林 譽史朗]



目・眼の病に効く漢方薬！

漢方では血を補い全身を整えます

最近、目の病のために漢方薬を服用される方が多くなって来ています。

昔から

- ・産後は、眼を使うな！目を悪くする
 - ・元気な人は目力・眼力がある
 - ・目は口程にものを言う
 - ・疲れは目に現れる
 - ・目は心の窓
- 等と言われます。

目に何か症状が表れるということは、体中の異変を示すシグナルともいえます。反対に、パソコンや携帯、TVゲーム、コンタクトなどが原因で目のトラブル（目の疲れ、痛み、視力低下、ドライアイなど）がおこり、それに伴い体全体の不調（頭痛、肩、腰などの凝りや痛み、吐き気、胃痛など）を併発することもあります。

血液がきれいで血液循環が良ければ、目の病になりません。

難しい病名がいろいろありますが・・・。

(例) 白内障・緑内障・中心性網膜炎・

眼精疲労・視力低下・眼底出血・

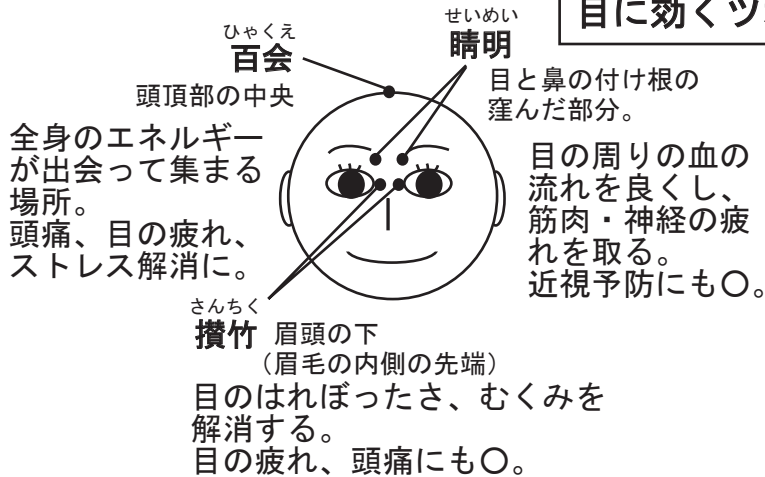
黄班変性症・目の充血・翼状片・

斜視・アレルギー性結膜炎・

網膜色素変性症・網膜剥離・涙嚢炎・

麦粒腫・眼瞼縁炎・・・

目に効くツボ



目の病の種類・原因は人により様々ですが、漢方薬では、基本的に血液をきれいにし、血液循環を良くする。全身の体調を良くする、疲れをとる。目に良く、目の周り、頭全体の血液循環を良くする。ための薬を処方します。

漢方薬にて様々な目の病が薬になってきます。目・眼の病を治すには、全身を治す事。

～目に良いもの～

- <民間薬> 決明子、菊花、松の実、クコの実(枸杞子)
- <食べ物> ブルーベリー、牡蠣、イカ、アワビ、ゴマ、緑黄色野菜、レバー、大豆、煮干、海藻

民間薬よもやま話

第9回 エビスグサ：マメ科

ケツメイシ
漢名―決明子(種子)

決明子はエビスグサの生薬名であり、一般にはハブ茶として市販され、よく知られています。しかし、本来のハブ茶とは、エビスグサによく似たマメ科の植物であるハブソウの種子のことを言っており、しばしば混同されがちになっております。

決明とは、明を開くの意味があり、視力を回復するということが明の時代の李時珍があらわした「本草綱目」にみられます。

便秘には、種子二十〜三十gを1リットルの水に入れ、十分程度煮たものをお茶代わりに飲みます。これにゲンノシヨウコを加えると、一層効き目が強化されますが、ゲンノシヨウコはあまり長く煎じないように、後で入れます。

眼病には、種子を煎じた汁で目を洗うと、目の疲れが取れ、充血を去る効果があると言われています。

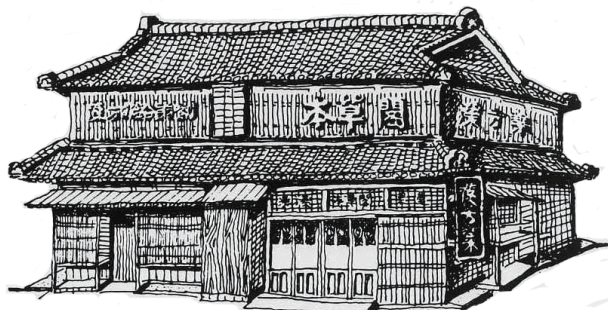
決明子を焙じて頂くと、あたりが穏やかになり、風味は香ばしく、よりおいしく飲んで頂けます。

エビスグサ



和薬・漢方の本草閣 本店
〒460-0012 名古屋市中区千代田5-21-17
(JR鶴舞駅西)
TEL (052)241-3388 FAX (052)241-3443
JR中央線・地下鉄 鶴舞駅下車
E-Mail kanpouyaku@honsoukaku.co.jp

HP <http://www.honsoukaku.co.jp/>
営業時間 10:00~19:00
定休日 木・日曜 (祝日は営業) 木・日曜が祝日の場合お休み



和薬・漢方の本草閣 緑店
〒458-0016 名古屋市区上旭1-622
(滝の水公園西)
TEL (052)899-0221 FAX (052)899-0236
・名鉄バス 鳴海駅より 滝ノ水口 下車
・地下鉄 野並駅より 市バス(大清水行・太子行) 滝ノ水公園下車
E-mail midori@honsoukaku.co.jp

* かわら版はメールでの配信も行っております。